

NIH、新たな治療法の開発を促進する官民連携プログラムの立ち上げを発表（5月3日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）は5月3日、様々な疾病に対する新たな治療法開発のため、製薬企業と連携して「既存有効成分を活用した新治療法の発掘（Discovering New Therapeutic Uses for Existing Molecules）」プログラムを立ち上げると発表した。

近年の研究により4,500を超える病気の原因が究明されてきたが、研究知識を新たな治療法に直結させることは容易ではなく、効果的な治療法が確立されているのはそのうち250程度の病気に留まっている。

このため、基礎研究から実用化への橋渡しを促進する目的で設立されたNIHの国立先進トランスレーショナル科学センター（National Center for Advancing Translational Sciences：NCATS）が中心となり、製薬会社が有する配合剤および関連情報を研究者に提供することで、新たな治療法の開発を目指すことになる。

同プログラム開始にあたり、ファイザー社（Pfizer）、アストラゼネカ社（AstraZeneca）、イーライ・リリー・アンド・カンパニー社（Eli Lilly and Company）の3社がパートナーとして参画する。

なお、本プログラムの詳細は

<<http://www.ncats.nih.gov/research/reengineering/rescue-repurpose/therapeutic-uses/therapeutic-uses.html>>から閲覧可能。

National Institutes of Health, NIH launches collaborative program with industry and researchers to spur therapeutic development

<http://www.nih.gov/news/health/may2012/od-03.htm>